

技術的検証の項目について

- 「各飛行方式の検討について」(資料1)により、羽田空港への導入可能性がある飛行方式として2方式を選定。
- 今後は、選定した2方式について、次のような技術的検証項目について安全性評価を実施していく。

前提条件設定

- ✓ 導入における海外状況の確認
 - － 導入事例、飛行方式設定基準、導入プロセス、評価手法を確認
- ✓ 暫定基準・モデル方式の作成
 - － セグメント最小値、保護空域等を考慮
 - － モデルとなる方式設計を実施

モデルの検証

- ✓ 基準評価シミュレーション実施
 - － 飛行方式の飛行可能性、目視物標視認検証
 - － ワークロードの確認
- ✓ 障害物評価手法の評価
 - － 経路からの逸脱度合いやその頻度を評価
- ✓ 同時進入監視要件の設定
 - － 経路逸脱量・頻度を検証
 - － TCAS RA鳴動検証、衝突回避手法検討

経路の設計・検証

- ✓ 航空局でのシミュレーション実施
 - － 暫定経路の作成、ATCによるリアルタイムシミュレーションを実施し、評価改善
- ✓ 航空会社でのシミュレーション実施
 - － 航空局での検証を経た経路案を航空会社に提示
 - － 航空会社によるシミュレーションや調整を実施

関係者との調整

- ✓ 国際民間航空機関(ICAO)との調整
 - － 関係作業部会との調整
- ✓ 運航者との調整
 - － 飛行方式の安全性・運用ルールを説明、理解を得る